

特集

嫁と姑より難しい？ 母と、娘の関係

「母が嫌い」。でも「母が嫌いな自分が嫌い」。他人を嫌いになるよりも、ずっとムズカしいこの感情。どの女性もかつては誰かの娘であり、母親になれば自にも複雑に絡み合ってしまうのでしょうか。子ども時代から思春期、出産・子育て期、親の高齢から介護期を通して、娘たちのいづく心を取り上げながら、ゆ

～ 共感、それとも反感？ ～

力しいこの感情。どの女性もかつては誰かの娘であり、母親になれば自にも複雑に絡み合ってしまうのでしょうか。子ども時代から思春期、出産・子育て期、親の高齢から介護期を通して、娘たちのいづく心を取り上げながら、ゆ

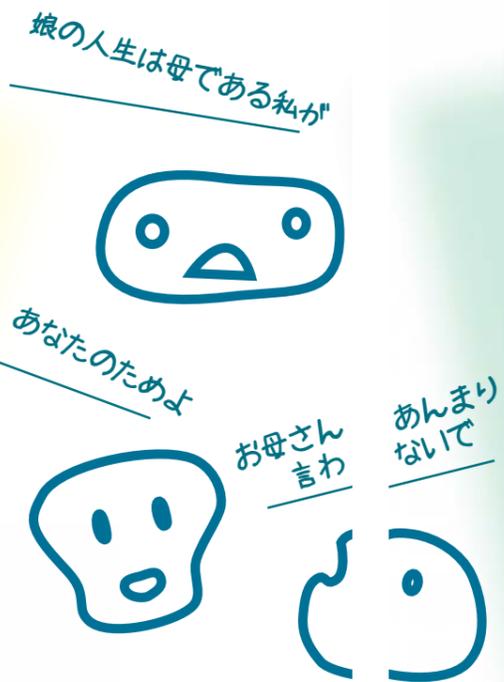
座談会

なかなか口にする事のなかった母と娘の関係について女性8人で話し合ってみました

- プロフィール
- Aさん 30歳代 Bさん 50歳代
 - Cさん 30歳代 Dさん 50歳代
 - Eさん 60歳代 Fさん 50歳代
 - Gさん 40歳代 Hさん 60歳代

親の高齢～介護期

- D うちの母は、年をとってから自分ができなかったこと、実はやりたかったことを言うようになったのよね。母の生きてきた時代背景を知ること、母親のことを理解できるようになったと思います。
- G 私は認知症になった祖母と母との難しい関係を見ていて、長年解決できなかった母娘関係のゆがみが、そのまま介護期に持ち越されているように思いました。
- H ある日、自我の強い母が私を「お母さん」と呼んだんです。その時から私たちの関係は逆転して、母親のことを客観的に見られるようになったわ。私は生きていく上で母と私は全く別と考えられるようになったときから、すごく楽になりました。
- B 母親と同居していると日々変化が分かります。親の衰えを感じますね。一緒にいるからお互いにながままも出てしまふ。
- E 介護をするなら親が元気がうちから同居しないとつまづかないケースが多いわね。母親に孫の世話や家事をやってもらっていると、今度はお世話する番だと思えるけど、弱ってからの同居だとお世話するばかりになってしまふものね。



子ども時代～思春期

- A 気軽に話し合える母娘ならいいけど、否定されるばかりだったので母親には言わなくなる。それでいて言わなかったことを後で責められたんです。
- C 母親に何でも相談している友だちの話をしたら、うちでは「甘えるんじゃない」と言われました。今、考えてみると母は10代でふるさとを離れ苦勞していたからかもしれないと思う。
- G 私は「しつかりした子」と母親にレッテルを貼られ、本当は気づいて欲しかったいろいろな不安ややせ我慢を、まったく察してもらえなくて…。感情を察してくれない母親にアピールするために、必要以上に大仰に話をする癖がついてしまいました。
- D 私の親は自分が大学に行けなかったから大学に行くようにとか、良い仕事についてほしいとプレッシャーをかけたのよね。専業主婦の母は、手に職・願望があったのだと思う。
- H うちの場合、私が親の希望する職業に就かないと分かった時に落胆して、しばらくは口をきいてくれなかったんです。
- F 私は「親って変わらないものなんだ」と気づいたときから、一歩離れてみる事ができるようになったと思います。
- E 私は母親としてプレッシャーをかけたつもりはなかったけど、子どもにとっては、重かったかなと思う。同性だから母と娘ってライバルの部分もあるかもしれない。

出産・子育て期

結婚や出産で退職する女性が多かった昭和50(1975)年。現在も出産退職は解消できていません(図1)。「妻は家を守るべき」という考えは時代と共に減少していたものの、平成24年にはまた増加。女性の意識が揺れていることがわかります(図2)。女性の平均寿命は約86歳と伸び、子どもの数も少なく、接する時間が増えた母娘は、親しく理解し合えることが多い反面、距離感の取り方が難しくなったり、対立してしまうこともあります。

座談会を通して、母と娘の関係は世代にかかわらず共感できることが多いと感じました。それぞれの考え方やその背景を理解すること、心に封印していた思いを言葉に出して試みることで、自分の思いを知り、お互いの関係を少し変えていくきっかけになるかもしれません。

(筑紫)

図2 「夫は外で働き、妻は家を守るべきである」という考え方に関する意識の変化

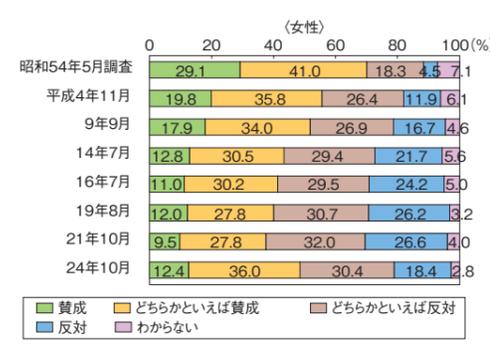
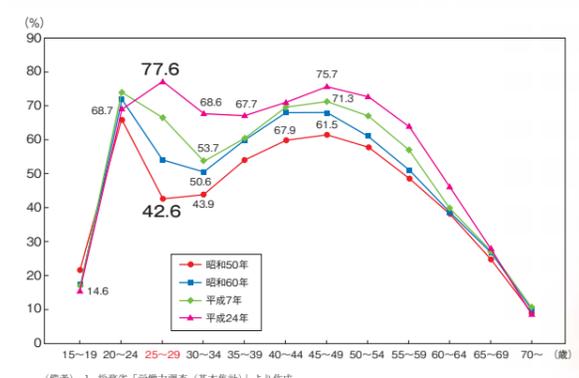


図1 女性の年齢階級別労働力率の推移



(備考) 1. 総務省「労働力調査(基本集計)」より作成。
2. 「労働力率」は、15歳以上人口に占める労働力人口(就業者+完全失業者)の割合。
平成25年版男女共同参画白書